

# 広域連携の推進に期待

**質問** 広域連携による移住・定住フェアの推進、県交通「岩黒線」の維持、東北新幹線水沢江刺駅駐車場の増設と有料化を望むが。

**市長** 7月の「青森・秋田・岩手の暮らし発見フェア」に北上・金ケ崎・西和賀の4市町で合同ブースを開設。移住のための情報と圏域の魅力を伝えた。今回、13組の相談があったが移住に直接結びつかなかった。今後、工夫しながら市や圏域の情報提供に努めたい。

「岩黒線」の存続には利用者数を増やす必要がある。国庫から県単補助へ移行しながら、一日平均の利用者数を増やすため、10月から現在の四便中、利用者数が少ない二便を廃止。今後も北上市や事業者と協力し、市民のバス利用を呼び掛け路線維持に取組んでいく。東北新幹線駅の駐車場不足に対し、昨年28台分を増設。今年9月に20台分を整備し、計507台分の駐車スペースを確保。一時的に駐車スペースが不足する場合もあるが、広域連携による増設と有料化の提言については現在のところ考えていない。

## 市有林の積極的活用を

**質問** 歳入確保のため、市有林の積極



広域連携による移住フェア

**市長** 市有林の資産価値向上のためには、低コスト化や付加価値をつけた木材販売が必要。今後、先進事例を学び取組みたい。

**教育委員長** 市内小中学校に20の学校林があるが管理は十分でない。年内に現地調査をし課題を整理したい。



ひろの 廣野 議員(市民クラブ)

# 健康づくりのために公園の活用を

**質問** 奥州市の公園は、どのように管理されているか。

**市長** 現在271カ所の公園を管理している。平成26年度に長寿命化計画を策定し、年次計画に沿って整備を進めている。予算や人員も限られており、地域の力も借りながら進めていきたい。

**質問** 健康づくりのために健康遊具を設置するなど、これからの時代に合わせた活用も考えるべきである。まずはビジョンを立て、次には関係部署間の連携が必要である。奥州市が推進する市民週一運動にもつながるよう、積極的な公園の活用を考えるべきである。

**市長** 地域の要望等を踏まえながら、関係部署間の協議を始めたい。公園の数が多いため、モデルとなる公園を選択することも一つの方策と考える。

## 家庭での防災の取組を

**質問** 各家庭における事前



いざか 飯坂 議員(公明党)

**市長** 広報や防災セミナー、出前講座等を通して働きかけていきたい。家具の転倒防止については、独居高齢者を対象とした検討を関係部署間でしていきたい。



総合防災訓練におけるAEDの講習会(古城地区センター)